

## ペットの健康を大切に考える飼い主の姿が明らかに ペットにかける年間支出調査

- 「日用品」「予防」～ペットの長寿化を反映して増加～
- 「フード・おやつ」～割高でも品質で選ぶ～
- 「シャンプー・トリミング」～皮膚の健康を考えて～

アニコム損害保険株式会社（代表取締役社長：小森伸昭）では、契約者に対してインターネット上で、2010年の1年間にペットにかけた費用（年間支出）に関する調査を行いました。

### ■ ペットにかける年間支出は横ばい

2010年の1年間にペットにかけた費用は、犬が前年比101.1%、猫99.0%となり、ほぼ横ばいとなりました。

どうぶつ種別 1年間にかけた費用

項目(円)	犬			猫		
	2009年(*)	2010年	前年比(%)	2009年(*)	2010年	前年比(%)
しつけ・トレーニング料	59,569	56,478	94.8	-	-	-
フード・おやつ	45,844	49,585	108.2	34,310	36,893	107.5
病気やケガの治療費	51,318	47,743	93.0	35,442	45,216	127.6
シャンプー・カット・トリミング料	32,547	34,301	105.4	11,673	6,181	53.0
ペット保険料	31,293	31,765	101.5	27,006	24,236	89.7
ワクチン・健康診断等の予防費	25,287	26,522	104.9	12,023	12,664	105.3
ペットホテル・ペットシッター料	25,627	22,736	88.7	20,762	13,464	64.9
日用品	14,483	17,183	118.6	13,859	17,362	125.3
洋服	13,364	14,670	109.8	6,581	4,011	60.9
ドッグランなど遊べる施設	7,904	9,176	116.1	-	-	-
首輪・リード	6,867	7,441	108.4	2,806	2,847	101.5
合計(円)	314,103	317,600	101.1	164,462	162,874	99.0
回答数	2,098	2,569	-	263	388	-
回答した飼い主のペットの平均年齢(歳)	4.3	4.3	-	4.9	4.8	-

項目(円)	うさぎ	フェレット	鳥
	2010年	2010年	2010年
しつけ・トレーニング料	-	-	-
フード・おやつ	36,508	20,668	15,091
病気やケガの治療費	24,199	50,026	36,625
シャンプー・カット・トリミング料	4,543	5,194	-
ペット保険料	27,229	35,084	24,729
ワクチン・健康診断等の予防費	9,641	16,610	27,333
ペットホテル・ペットシッター料	33,214	18,725	-
日用品	15,917	15,537	11,800
洋服	3,311	4,233	-
ドッグランなど遊べる施設	-	-	-
首輪・リード	2,939	2,444	-
合計(円)	157,501	168,521	115,578
回答数	80	37	11

#### 【調査方法】

アニコム損保のペット保険「どうぶつ健保」の契約者に対し、2010年1月1日～12月31日の1年間に、ペット1頭(羽)へ支出した費用について、インターネット上でアンケートを実施。

#### 【実施期間】

- ・2010年分調査：2011年2月3日～2月8日  
(有効回答数 3,085)
- ・2009年分調査：2010年1月29日～2月7日  
(有効回答数 2,498)

(\*) 今回から集計方法の変更を行ったため、2010年2月12日に発信した昨年と同調査リリースの数字と異なります。

## ■「日用品」「予防費」 ～ペットの長寿化を反映～

犬の費用項目で、最も増加が見られたのは、トイレシートなどの「日用品」（対前年 118.6%）でした。

「日用品」費用が最もかかるのは、いろいろ揃える必要がある飼育初期の頃ですが、飼い主からは、「高齢になりトイレの失敗が増え、トイレシートの購入が増えた」「サークルの中全体にトイレシートを敷くようにしている」など「高齢化（介護）で日用品の支出が増加した」とのコメントが寄せられています。

また、「ワクチン・健康診断等の予防費」についても対前年 104.9%と増加しており、「高齢になったので頻繁に健康診断に行くようにした」とのコメントが多く見られました。「日用品」「予防」費用は、ペットの長寿化にともない増加する項目と言えるようです。

なお、猫でも「日用品」費用が対前年 125.3%と増加していますが、飼い主からは「凝った玩具を買うようになったから」という微笑ましいコメントが特に多く寄せられています。

## ■「フード・おやつ」 ～割高でも、ペットの健康を考えたフードを選ぶ傾向に～

「フード・おやつ」にかかる費用も対前年 108.2%と増加しています。飼い主からは、「割高でも、体にいいものを選ぶようにした」といったペットの健康を重視してフードの品質を選ぶようになったとのコメントや、「肥満気味と言われたのでダイエット用フード」「アレルギーになってしまったのでアレルギー専用フード」といった、ペットの症状に合った専用フードを与えているとのコメントが多く寄せられました。

また、「飽きやすいので、フードの種類をあれこれ変えるようになった」「手作りでないと食べなくなった」といったコメントもみられ、ペットの嗜好に合わせるために悪戦苦闘し、費用も惜しまない飼い主の姿がうかがえます。

## ■「シャンプー・カット・トリミング料」 ～皮膚の健康を考えて～

「シャンプー・カット・トリミング料」（対前年 105.4%）の増加については、大きく2通りのコメントが見られました。1つは「皮膚を清潔に保つため、シャンプーの回数を増やしたから」というもの、もう1つは「トリミングサロンでオプションコースを選ぶようになったから」というものでした。特に、皮膚病に良いとされるマイクロバブルバス（シャンプーを使用せず、極小の泡で皮膚を洗浄する方法）を選択している方が多く見られました。「お洒落のため」だけでなく、愛犬の皮膚の健康を考え、シャンプー・トリミングに費用をかける飼い主が多いことがわかりました。

## ■ 医療費の年間平均は5万円弱 ～飼い主の努力の賜物か、犬の医療費は減少～

ペットの年間医療費は、犬で約4万8千円、猫で約4万5千円と、ともに5万円弱の費用がかかっています。ペットを飼ううえで最も費用のかかる項目と言っても差し支えありませんが、犬の医療費については前年より減少が見られました。「手作りの食事に変えたら、アレルギーが治った」「トリミングの回数を増やしたら、皮膚病が治った」等、ほかの項目に費用をかけた結果、愛犬が健康になり、治療費が減少したというコメントが寄せられています。

今回の調査では、ペットの健康を大切に考え、費用をかけるべき項目には出費を惜しまない飼い主の姿が垣間見られる結果となりました。